

## 第 19 卷 (第 1 号～第 4 号) 総目次

《論 文》	号	頁 (通巻頁)
「日本的雇用管理」の歴史的性格と その変遷……………平尾 武久	1	1 (1)
結合生産企業と独占市場……………飯田 隆雄	1	51 (51)
企業者育成教育を中心として日米比較……………横川 義雄	1	59 (59)
第 I 部		
ホブズにおける・「契約 (Pact, Covenant)」, および「自然権」, 「自然法」, の諸概念の分析 (第 I 章——第Ⅻ章) 第Ⅺ章 (VI. ～Ⅷ.) ……………鈴木 秀勇	1	73 (73)
アントン・フガーの企業と時代 (24) メッツの挫折とスペインの送金—— ……………松田 絹	1	145 (145)
《研究ノート》		
International Capital Mobility and the Dutch Disease ; A Note. ……………Masayuki Hayashibara	1	173 (173)
《論 文》		
ヘーゲルの相互承認論の形成と構造(1)……………高田 純	2	1 (189)
Women in the Soviet Economy, 1917–1932. ……………富森 孜子	2	35 (223)
政治理論研究 I		
——B. deジューネルの権力論—— ……………鈴木 礼暁	2	67 (255)
アントン・フガーの企業と時代(25) ——1553 年の決算—— ……………松田 絹	2	109 (297)
《研究ノート》		
原価計算における不確実性の下で意思決定 ……………鶴 日出郎	2	135 (323)
《翻 訳》		
〔ジェイムズ・ステュアート〕「ビーティ博士の 『真理の本質と不変性についての一試論』 第二版. エディンバラ 1771 年についての 諸考察」他……………川久保晃志	2	155 (343)

## 《論 文》

ソフトウェア工学の新しい視点……………荒川 淳三 3 1 (381)

戦後思想の断章

——吉本隆明論——……………鷺田小彌太 3 25 (405)

### 第 I 部

ホ布斯における・「契約 (Pact, Covenant)」, および「自然権」,  
「自然法」, の諸概念の分析 (第 1 章—第Ⅹ章)

第Ⅹ (IX. [A. ~F.]) ……………鈴木 秀勇 3 65 (445)

ヘーゲルの相互承認論の形成と構造(2)……………高田 純 3 111 (491)

## 《研究ノート》

アメリカ電気通信事業の実状……………飯田 隆雄 3 141 (521)

## 《論 文》

経済学者サー・ジェイムズ・ステュアートの形而上学

——かれのジェイムズ・ビーティ批判によせて——

……………川久保晃志 4 1 (531)

北海道における地域医療計画の策定についての考察

……………宮腰 昭男 4 43 (573)

戦時労務管理体制の崩壊

——戦後日本の労務管理発展史—— 平尾 武久 4 103 (633)

戦後思想の断章

——吉本隆明論——(承前) ……………鷺田小彌太 4 141 (671)

### 第 I 部

ホ布斯における・「契約 (Pact, Convnant)」, および「自然権」,  
「自然法」, の諸概念の分析 (第 1 章—第Ⅹ章)

第Ⅸ章 (IX. [G., H.]) ……………鈴木 秀勇 4 177 (707)

アントーン・フガーの企業と時代 (26)

——アウクスブルクの宗教和議—— 松田 緝 4 293 (823)